

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和6年度）

あんしんケアセンターさつきが丘

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	・出張介護予防教室 ・喫茶、サロンの運営協力	・さつきが丘公民館において、地域の高齢者を対象とした出張介護予防教室を開催した。名称は「エンジョイさつきが丘」。10/30（水）と2/12（水）の計2回開催で延べ36名が参加した。フレイル予防を目的とし、各種関係機関の協力を得てボッチャ体験とロコモ体操の他、特殊詐欺防止啓発についてのミニ講座を行った。アンケートの結果からも好評をいただくことができた。また、2/17（月）にURさつきが丘団地との共催イベントにおいて、脳トレ+ボッチャ+体操を主とした介護予防教室を開催。計15名が参加した。 ・計4ヶ所の喫茶、サロンにおいて、参加者の傾聴対応の他、地域内のイベント周知やボランティア事業等の情報発信を行った。また、主催者からの協力要請に応じた。	○
(2)	交流の場づくり	・認知症カフェの運営協力 ・グループホームと地域住民の橋渡し	・ケアラズカフェ（ココカフェ）において、参加者の傾聴対応の他、新規の参加者に対し、事業所の周知活動を行った。月1回の開催であるが、全てに参加しており、現時点において、通算10回の開催で延べ89名が参加した。また、事業所より繋いだ傾聴ボランティア2名とは関係構築が図れている。 ・ガーデンコート千葉さつきが丘の花壇ボランティアにおいて、地域高齢者と入居者が気軽に集える場の提供づくりを行った。現時点において、通算4回の開催で延べ10名が参加した。また、運営協力にあたり、新たな担い手1名の参加があった。	○

《基本方針２》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・ 地域ケア会議	・ 6/27（木）に独居で身寄りのない精神疾患を抱える高齢者の支援について、地域住民や行政機関の他、外部の主任介護支援専門員を招いて会議を開催。計 11 名が出席した。対象者の支援について、方向性を決めることができ、現在も支援を継続している。 ・ 8/29（木）に社協さつきが丘、宮野木台地区部会と連携し、地域課題と思われることについての会議を開催。計 32 名が出席した。地域の強みや課題について話し合い、各種関係機関との連携強化を図った。また、会議にて多くの地域課題が挙げたが、その中でも「多世代間の交流」に焦点を当て、2/25（火）に「多世代間の交流」をテーマとした地域ケア会議を開催。計 29 名が出席した。 ・ 今年度の重点的活動地域である宮野木台 3 丁目（ひばりが丘自治会）において、2/9（日）に防犯と防災対策を主テーマとした地域ケア会議を開催した。計 17 名が出席し、地域の防犯と防災対策について共通認識を得た。また、併せてあんしんケアセンターに関するミニ講座を行った。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	・ 地区部会の総会に参加 ・ 地区民児協定例会参加 ・ 地区部会の委員会会議に参加 ・ 民生委員に対する後方支援	・ 5/11（土）に来賓として、社協さつきが丘、宮野木台地区部会の総会に出席した。 ・ 5/11（土）に 205 地区、5/13（月）に 214 地区の民児協に参加し、前年度の事業所における総合相談内容の内訳を掲載した資料の配布と地域課題に対するアンケートを行った。 ・ ケアラズカフェ（ここカフェ）については、カフェ終了後の反省会に参加し、関係者と地域福祉等についての意見交換を行った。 ・ 214 地区の民生委員に対し、2/1（土）に認知症 VR 体験会を開催。参加者は 9 名であった。参加された民生委員より、「認知症の方の世界が知れて今後の参考になります」等の意見をいただくことができた。	○

《基本方針３》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	・ 地域密着型サービス運営推進会議	・ 出席依頼のあった圏域内の地域密着型サービス運営推進会議に全て出席し、福祉サービスの向上に向けた意見交換を行った。出席依頼のあった事業所数は計 12 ヶ所で会議出席回数は 34 回であった。また、事業所の都合により、会議の欠席が 1 回あった。	○
		・ 認知症高齢者に対する対応の周知	・ あんしんケアセンターこてはし台と協働し、花見川いきいきプラザのイベントにおいて、8/24（土）の夏祭りに認知症クイズラリー、12/14（土）のクリスマス会に認知症高齢者の声掛け訓練を開催。参加者について、夏祭りは延べ 163 名、クリスマス会は 150 名であった。参加者より、「認知症のことが分かった」等の意見をいただくことができた。	
		・ シニアリーダーの人材発掘、支援	・ 第 2 層生活支援コーディネーターと連携し、シニアリーダー養成講座の修了者（1 名）がシニアリーダーとして地域で活動できるようヒアリングを行い、適宜助言した。また、シニアリーダー養成講座の受講希望者（1 名）の支援を行った。	
		・ 地域高齢者の強みを活かした役割支援	・ 第 2 層生活支援コーディネーターと連携し、6/26（水）と 11/6（水）の計 2 回、地域高齢者の趣味を活かした自然観察会を開催。参加者は延べ 7 名であった。	

(6)	地域福祉情報の発信	・出張相談会 ・通いの場、交流の場を訪問	・さつきが丘いきいきセンターと花見川いきいきプラザにて各2回ずつ開催された健康フェスティバルに参加し、基本チェックリストの実施といきいき活動手帳を配布した他、参加者の生活相談を行った。なお、2ヶ所の健康フェスティバル参加者の内訳は、さつきが丘いきいきセンターは延べ57名、花見川いきいきプラザ（あんしんケアセンターこてはし台と協働）は延べ116名であった。また、健康フェスティバルとは別に、さつきが丘いきいきセンターで1回、花見川いきいきプラザ1回、生活相談会を開催。さつきが丘いきいきセンターは2名、花見川いきいきプラザは11名の相談があった。参加者より、「あんしんケアセンターがあって良かった」等の言葉が聞かれた。 ・地域の通いの場、交流の場の計29団体を訪問（うち継続訪問は22団体）し、参加されている地域高齢者に対して、地域の健康講座の情報や地域イベントの他、介護予防に関するチラシ（事業所作成のあんしんさつきが丘便り含む）の配布と説明を行った。また、活動状況の把握に努め、通いの場、交流の場が必要とされる地域高齢者に対し、適宜情報共有を行った。	○
-----	-----------	------------------------------------	---	---

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	・出張講座 ・認知症サポーター養成講座の開催 ・終活講座	・4/22（木）にさつきが丘1-35ふれあい会より依頼があり、講師を務めた。講座の内容は「介護保険を知ろう」であり、参加者は9名であった。また、4/28（日）にさつきが丘9条の会より依頼があり、講師を務めた。講座内容は「事前に介護保険の使い方を知っておきませんか」であり、参加者は10名であった。共に介護保険についての関心が高く、「大変参考になった」等の感想が聞かれた。その他、花見川いきいきプラザにて計3回の出張講座を開催した。 ・6/9（日）に社協さつきが丘・宮野木台地区部会より依頼があり、「福祉まつり」におけるイベントのひとつとして認知症サポーター養成講座を開催。参加者は12名であった。また、1/29（水）に犢橋小学校6年生を対象としたキッズ認知症サポーター養成講座の開催。参加者は生徒36名、教師3名であった。アンケートの結果より、「認知症の方に優しく接したい」等の意見をいただくことができた。 ・10/8（火）に花見川いきいきプラザにて「終活について」の出張講座を開催。講師は株式会社金宝堂小さな森の家に依頼。参加者は13名であった。質疑応答の際に参加者からの質問が途切れなかったことから、終活に関する関心の高さがうかがえた。	○
-----	----------------------	--	--	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・ 電話 de 詐欺、消費者被害等に関するチラシの配布	・ 通いの場、交流の場へ訪問し、参加されている地域高齢者に対し、チラシの配布と説明を行った。130 部以上のチラシを配布できた。	○
		・ 消費者被害に関する出張講座	・ 8/13（火）に花見川いきいきプラザにて「消費者被害について」の出張講座を開催。参加者は 12 名であった。多種多様な消費者被害に驚かれる方が多く、「大変参考になった」等の感想が聞かれた。	
(9)	身近な災害への備え	・ 消費者被害についての勉強会	・ 1/15（水）に事業所内の全職員出席にて、消費者被害に関する勉強会を行った。講師は社会福祉士が主に務めた。	○
		・ 災害時訓練	・ 月 1 回の事業所における全体会議時に非常用自家発電機と防災ラジオの試運転を行った。また、災害対策としてヘルメットを準備している。	
(9)	身近な災害への備え	・ 防災に関する出張講座	・ 2/18（火）に花見川いきいきプラザにて「防災について」の出張講座を開催。講師は生活協同組合コープみらいに依頼。参加者は 8 名であった。参加者より、防災に対する意識が高まった等の意見が聞かれた。	○
		・ 安否確認	・ 事業所作成の安否確認リストに掲載されている高齢者に対し、自宅訪問や電話にて安否確認を行った。また、安否確認リストは 3 ヶ月に 1 回更新している。その他、災害等が発生した際には、安否確認リストに掲載されている高齢者の支援を最優先する。	
(9)	身近な災害への備え	・ BCP の作成	・ R6. 4/1 付で、自然災害や感染症が発生した時の方針や体制、手順などを示した計画を作成した。また、法人内の居宅介護支援事業所とあんしんケアセンター合同にて、感染症対策委員会災害対策委員会とを立ち上げた。感染症に関する研修を 3/6（木）に開催。災害に対する訓練は次年度に実施予定である。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 6 年度の実績 (上記項目の総括)	・ 予定していた事業計画をほぼ実施することができた。事業所の職員が 1 名追加されたことにより、特に介護予防活動支援を強化することができた。 ・ 今年度より新たな地域資源として、事業所主催の「エンジョイさつきが丘」を立ち上げた。「エンジョイさつきが丘」の周知活動に力を入れた結果もあり、多くの高齢者に参加していただくことができた。今年度は計 2 回の開催であったが、次年度は 3 回の開催を予定している。 ・ 新たな試みとして、民生委員を対象とした認知症 VR 体験会を開催することができた。 ・ 出張講座（認知症サポーター養成講座含む）を計 7 回開催することができた。前年度に引き続き、多くの出張講座を開催することができたものの、認知症サポーター養成講座（キッズ含む）の開催は計 2 回と前年度（4 回）よりも開催頻度が少なかった。
令和 7 年度の目標	・ さつきが丘地区において、「多世代間の交流」を目的とした地域ケア会議にて具体的に挙げた案に対し、社協さつきが丘、宮野木台地区部会と連携してできることを実行する。また、今年度の重点的活動地域である宮野木台 3 丁目（ひばりが丘自治会）も同様に、地域ケア会議にて出された課題に対し、自治会と連携してできることを実行する。 ・ 犢橋地区での活動が不足しているため、次年度の重点的活動地域とした千種町（千種台ハイツ自治会）を中心に犢橋地区での活動に力を入れる。 ・ 認知症 VR 体験会について、VR 機器の貸与に上限があるため、多くの参加者を招集することはできないものの、次年度も VR 機器が貸与できれば、今回参加されなかった 214 地区の民生委員の他、205 地区の民生委員に対しても認知症 VR 体験会を開催する。 ・ 地域活動の担い手不足、担い手の高齢化について、第 2 層生活支援コーディネーターと共に課題解決の役割の一旦を担う。
今後の課題と方針	・ 地区部会単位との関係構築は行えているものの、町内自治会単位の活動は一部に限られているため、今後は町内自治会単位での活動を強化する。町内自治会の会合に参加する機会を増やす。 ・ 認知症サポーター養成講座の開催依頼が減っている。地域の施設等にも講座開催を働きかける必要がある。
令和 6 年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和6年度）
あんしんケアセンター幕張

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家	・毎月1回定例で開催。参加者毎回10名前後。 11/19 初めて収穫祭を実施。幼児から高齢者と多世代が参加した。保育所の園児・地域の親子連れ・認知症当事者・その家族・地域の方々・老人会会長・民生委員・花見川区社協・花見川区内SCなどが集い交流を深め、閉じこもり、孤立予防、認知症共生社会につながる活動を行った。延べ人数：約200人 3/25 幕張公民館で千葉大学教授近藤克則先生を迎えて公演予定。 ・毎月2回定例で開催。参加者毎回15名前後。 歩いて通える場所で集い、体操・歌唱・脳トレ・朗読会・各種出し物・花壇の整備など様々な活動を通じて閉じこもり防止や地域交流、仲間づくり、居場所づくりを行った。	◎
(2)	交流の場づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家	上記参照	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	個別地域ケア会議を1回実施。本人、自治会長、民生委員児童委員、医療機関、不動産業者、社会援護課、高齢障害支援課、あんしんケアセンター幕張と本人の意思決定支援のための協議を行った。 地域ケア会議 1回開催。集いの場の担い手育成について討議	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議	あんしんケアセンター花園と合同で「認知症」をテーマに医療職と介護職の連携について会議を開催。 後半に向けて花見川区内全域の同会議を開催予定。	○

《基本方針３》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	地域密着型サービス運営推進会議	・運営推進会議に22回出席（予定含む）。運営の協議や他機関の取組などを提示。	
		生活支援コーディネーターの活用	・生活支援コーディネーターの活動で人材を発掘し、各種地域の通いの場に案内した。また、通いの場でのボランティアの育成支援を行った。	
(6)	地域福祉情報の発信	広報誌発行	・広報誌を隔月で掲示板や自治会配布を発行。当センターの周知と、主として高齢者の日常生活に関する情報を掲載。広報誌を見た人が収穫祭に多く参加し、読者から掲載内容に関する問い合わせや感想を受けた。	◎
		まちかど相談	・あんしんケアセンター幕張の前で毎月1回、定例にて相談会を実施。	
(7)	学習の場や体験の場の創出	出張講座	自治会、老人会、地区社協、居宅介護支援事業所、医療従事者、介護従事者の依頼に基づき相談会や勉強会を実施。 認知症サポーター養成講座 1回実施 キッズ認知症サポーター養成講座 2回実施	◎

《基本方針４》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者詐欺、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起	管内警察署の話を地域住民へ広報誌や通いの場で配布し、周知を行った。また消費者センター、千葉市作成のチラシやポスターをセンターに掲示。	○
(9)	身近な災害への備え	非常時訓練	携帯発電機の操作確認と試運転を月1回で実施。 予防プラン作成担当利用者の安否確認リスト作成を半年ごとに見直し。 千葉市のハザードマップの確認と周知。 BCPを所内で確認し机上訓練の実施。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 6 年度の実績 (上記項目の総括)	基本方針についておおそ計画通りに実施できておいる。活動や作業を通じた交流と、相互に関心を抱きながら関係構築している現状があり、居場所づくりとして参加者にも好評を得た。 年代や属性を限定しない催しに参加することにより、多世代に当センターの存在を知ってもらう機会となった。
令和 7 年度の目標	居場所づくりは昨年からの継続開催で広がりを見せている。継続的な運営と活動の維持のためにも、運営委員の育成を意識した支援と取り組みの呼びかけを行う。
今後の課題と方針	圏域内で更にあんしんケアセンター幕張の周知。自分の居場所が皆の居場所になるよう、自分事としての街づくりの継続。そのために他機関の連携の強化を図る。
令和 6 年度の達成 状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和6年度）
あんしんケアセンターこてはし台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	① 元気会（鷹の台） ② 健康寿命延伸プロジェクト（鷹の台） ③ 喫茶室「つどい」（こてはし台） ④ ふらっとみ春野 ⑤ はつらつ元気教室	① ② 10月には「呼吸の仕方～肺を健康に」をテーマに講座（外部講師）を行った。参加人数：38名 ③ こてはし台自治会館耐震工事が終了し1月から再開された。出張相談含め参加をした。 ④ 毎月、あんしんケアセンターの広報誌の説明、体操等を行った。参加者：11名～23名 ⑤ 第二、第四月曜日の月二回の開催。 新規参加者も増え、参加人数も安定している（13人～16名）※第4月曜日は外部講師（理学療法）による運動を行っている。	◎
(2)	交流の場づくり	① ふらっと横戸台（認知症カフェ） ② ○○カフェ（認知症カフェ） ③ 子ども食堂	① 第2層生活支援コーディネーターと共に不定期ではあるが参加（相談等）し後方支援を行った。 ② オリーブハウス職員、こてはし台横戸台ボランティアの会等と共に参加者がその日行いたいこと（歌、創作等）などセンター職員と一緒にしている。 千葉市認知症カフェの一覧にも記載しているため、見学された家族や認知症ステップアップ講座受講者の方も参加されている。（継続参加2名～3名） ③ 令和6年12月よりこてはし台テラスハウスで運営となった。生活支援コーディネーターと共に参加をした。（今後も不定期に参加予定） 自治会との連携を図っており若い方世代の方との交流が期待される。	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	・横戸町（鷹の台・千代の台）12月 3月開催。自治会、民生委員児童委員等と情報共有し早期支援等を行えた。また、歩行中に休めるスペースが必要ではないかという意見がありベンチマップ作成し協議した。ベンチを設置するには条件もあり、勝手に設置出来ないという課題もある。（生活支援コーディネーター） ・こてはし台 2月開催 9月の地域ケア会議後から各団体の活動やイベントを行った際の多世代交流や 次世代の担い手へのアピール等について報告を行った。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	① 206、211 地区 民児協 定例会 参加 ②その他	① 206、211 地区：5月にあんしんケアセンターの実績報告、高齢者の課題についての共有を図った。 ・206 地区：8月 災害発生後の活動についての研修会参加 ②地域ケア会議（鷹の台 千代の台 こてはし台の自治会 民生委員児童委員 社協等）を通じて地域との連携を図ることができた。	◎

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	・第1層 第2層生活支援コーディネーターと連携	・第二層生活支援コーディネーターを中心に地域のサロン、サークル活動等と連携を図り、出張講座（外部講師含む）依頼があり地域との連携を図ることができた。（こども食堂 終活講座等） ・第二層生活支援コーディネーターが作成しているサークル活動一覧等を活用し地域の資源を包括3職種で共有を行った。	◎
(6)	地域福祉情報の発信	① 広報誌の作成 ② 地域のイベント等の周知	① ② あんしんケアセンター前掲示板の掲示やサロン（出張相談含む）等で配布し発信を行った。	○

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	① 認知症サ ポーター 養成講座 座 ②高齢者見守 り・声掛け 訓練	① 令和7年1月 こてはし台小学校（4年生 52名） 令和5年度に続き講座を行えた。 ②令和5年度から認知症啓発活動「歩いてビンゴ」柏 井地区子供会と共催している。86名の参加。 あんしんケアセンターさつきが丘、園生、花見川、花 見川区社会福祉協議会等もスタッフとして協力をい ただいている。 ※QRコードの問題を認知症クイズ（認知症に対す声掛 け問題等）として参加者が認知症役に声掛けしてい ただいた。 ■その他 ・いきいきプラザでのイベントに参加。 認知症普及啓発活動をあんしんケアセンターさつき が丘と共催で行った。 7月：認知症クイズ 12月：声かけ訓練 車いす体験を実施	◎
-----	----------------------	--	---	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成 状況
(8)	継続的な防 犯活動への 取り組み	①消費者被害 防止啓蒙活 動 ②地域パト ロール活動 ① 消費者被害に関する情報をセンター前に掲示し、注意 喚起を図った。 ② 12月 こてはし台（1丁目から6丁目）の防犯パト ロールに参加した。	○
(9)	身近な災害 への備え	BCP（事業継続 計画）作成 BCP（災害・感染）について内部研修を行った。 平常時、緊急時に備え事業継続が行えるようセンター 強化に努めていく。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 6 年度の実績 (上記項目の総括)	・令和 6 年度計画通り活動（地域ケア会議、認知症カフェ、その他啓発活動等）を行えた。センター単独で行えない活動には、他機関の協力や他圏域のあんしんケアセンターと共催し地域活動を行えた。また、民生委員児童委員と連携も図ることもできており早期の相談支援も行えた。 ・第二層生活支援コーディネーターと地域のサークルやサロン等の関わりが増えた事で、あんしんケアセンターの周知等を行えた。また、出張講座（外部依頼含め）の依頼があり各サークル活動の支援が行えた。
令和 7 年度の目標	・地域ケア会議等を活用し、自治会、民生委員児童委員などの関係機関と連携を図り、支援が必要な高齢者へ早期に支援が行える体制を強化、地域課題を把握し地域づくり・資源開発に向けて取り組みを行う。 ・生活支援コーディネーターと連携し、介護予防の取り組みや自治会等で開催している通いの場等への支援を行う。 ・支援者や家族介護者などに向けた支援の充実、学びの場の提供を行う。
今後の課題と方針	・令和 8 年度までに花見川中学校地区（第 2 2 地区）全域との地域ケア会議を開催し自治会、民生委員児童委員などの関係機関と連携を図り、地域課題、支援が必要な高齢者へ早期に支援が行える体制を強化する。 （◎令和 4 年度 5 年度：鷹の台自治会◎令和 6 年度：鷹の台・千代の台自治会◎令和 7 年度；・新鷹の台第一自治会　・新鷹の台第二自治会　・追館自治会　・ソレイユ鷹の台自治会　・ライオンズマンション千葉鷹の台自治会◎令和 8 年度：・南柏井町内会　・北柏井町内会　・柏井新田町内会） ・防犯に関する取り組みとして、認知症普及啓発から詐欺被害等、権利擁護の意識につなげる活動を行っていく。 ・生活支援コーディネーターと協働し、多世代交流に繋がるような人材の発掘・育成を目指して、各地域の組織と連携を行い今後の支援体制の構築を図る。
令和 6 年度の達成 状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上） ○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満） △：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満） ×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和6年度）
あんしんケアセンター花見川

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	高齢者サロン・サークル	各地域の高齢者サロンに参加 《長作町地域》 ・毎月地蔵作サロンへ参加し介護予防普及啓発の促進を行う ・8月、貝塚サロン参加 内容：介護保険、地域包括支援センターの説明、詐欺被害防止の取組みで、特殊詐欺や詐欺のメカニズム 《作新台地域》 ・6月30日、作新長作いきいきクラブ参加、介護保険制度の説明（サービスや施設等） 《花島町地域》 ・花島お楽しみ会に4、7、10、1月と4回参加し、介護予防普及啓発と体操や余暇活動を支援 《柏井1丁目地区》 ・マンションの老人クラブ活動に参加、いこいの集いでは健康課と協働し介護予防普及啓発を行う	○
		介護予防体操教室	4か所（花見川団地2か所、長作公民館、作新台）の後方支援を継続し、長作町にシニアリーダー体操教室開設の後方支援を行う。（初回20名の地域高齢者の参加があった）	

(2)	交流の場づくり	地域で実行されているカフェ 認知症カフェ	ふれあい喫茶花見川へは毎月、作新台は11月より参加し、介護予防普及啓発や出張相談窓口を設置し対応。 認知症カフェが圏域に存在せず、花見川団地の地域住民や商店街、自治会、民生委員等が認知症カフェの必要性を感じ、主体性を増す促進活動の一つとして認知症の勉強会を地域ケア会議と並行し9月12月に開催、双方20名以上の地域関係者が集まり認知症すごろくや認知症ケア専門士の講演、意見交換やディスカッションを実施。団地内での認知症カフェの必要性や勉強会継続を訴える参加者、介護事業者が協力し合い立ち上げる方向で話が進み、7年度5月のカフェ開始に向けて準備を進めている。住民や事業所が主体性を持ってカフェの運営を継続できるようにあんしんケアセンター花見川も支援を継続。他、他区含め住民主体で行われている認知症カフェの見学にあんしんケアセンター花見川も参加して、情報収集をしている	◎
-----	---------	------------------------------------	--	---

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・地域ケア会議 花見川団地地域ケア会議 6月・10月・12月・3月（予定）→「5年、10年後の団地を見据えて」をテーマに、認知症カフェ取り組み促進と並行して高齢者世帯が増えていく事について等の課題の洗い出しを行っている 花見川団地住宅自治会 5月（ゴミ出し支援） 天戸地区地域ケア会議 6月（地域の介護事業所と地域住民の連携）	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	・地区民児協 定例会参加 ・社会福祉協議会地区部会との関わり ・211・212地区は5月に参加。毎月213地区民児協定例会へ参加して、相談件数の傾向やあんしんからのイベント情報などを共有した。 ・社協天戸地区部会が開催している地域での講座にあんしん花見川も参加して、ともに理解を深めている ・天戸地区地域運営委員へ加入して地域課題等について共有を図った。今後も参加し各地域ケア会議開催のきっかけを作っていく。	◎

《基本方針３》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	・地域密着型サービス運営会議 ・高齢者見守り訓練	・近隣のグループホーム、デイサービス運営推進会議へ案内があると参加して地域課題等を施設と共有。 ・高齢者の見守りを強化したく、花見川団地地域ケア会議の際に検討。→住民に対する意識を高め、気になる高齢者等の発見時にはあんしんケアセンターや地域支援者等へ連絡、共有を図る為に必要な事は何か模索中。	○
(6)	地域福祉情報の発信	・出張相談会	花見川団地地域ケア会議で課題として上がった、高齢者のみならず、高齢者以外の方の生きづらさ、生活困窮、外国人、ゴミ出し等多数の課題に対応するため、UR主催であんしんケアセンター花見川、生活自立仕事相談センター花見川、花見川区障害者基幹相談センターと「生活・福祉の合同相談会」を6月、11月に開催。7年度はターゲットを絞り込むため、案内を健康課や訪問看護などにも配架し取り組みを継続していく方向。	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	・認知症サポーター養成講座 ・認知症キッズサポーター養成講座	認知症サポーター養成講座 11月 花見川いきいきセンター（社会福祉協議会職員、一般向け） 2月 213地区民事協・花見川団地自治会（民生委員と自治会役員） 次年度4月 花見川公民館（一般向け） 花見川団地商店街（商店街関係者）への開催の提案を進めている キッズ認知症サポーター養成講座 1月作新小学校	◎

《基本方針４》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・消費者被害防止啓蒙活動 ・防犯パトロール活動	高齢者サロンへ参加した際に、千葉北警察生活安全課と同行し詐欺の被害状況報告、注意喚起を行った。（8月と10月）民児協定例会に参加した際にも同様の情報を共有して民生委員から地区の高齢者へ注意喚起を依頼した 12月年末に花見川団地、作新台地区の防犯パトロールに参加	○

(9)	身近な災害への備え	・センターで作成した BCP 計画に地域の事情を落とし込む。	11月に長作町内会防災訓練、12月に花見川住宅自治会の防災訓練へ参加、地域での防災意識や要配慮者（独居高齢者等）の対策や検討事項を確認した。他の町内会も順じて確認していく	○
-----	-----------	--------------------------------	---	---

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和6年度の実績 (上記項目の総括)	地域づくりを進める中で概ね計画通り実行できているが、各地域での課題をさらに把握するため、今後も可能な限りその地域へ足を運び、住民や支援者等の関係者と意見交換等を進めていく。
令和7年度の目標	花見川団地で実行してみた認知症問題の取り組みをモデルにして他地域の住民や介護事業所等と連携し普及啓発を進め取り組み、災害に対応できる地域づくりの推進を図る
今後の課題と方針	各地域の住民と支援者と一体になり「誰も取り残されない、見守りの効いた地域」を目標に地域づくりを進めたい
令和6年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和6年度）
あんしんケアセンターにれの木台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	・にれの木台ラジオ体操 ・西小中台健康教室 ・にれの木台健康教室 ・SL体操やお散歩倶楽部などの紹介	・4月～1月（10ヶ月） 延参加者数 3,519名 月延平均 351.9名 昨年と比べ（延）176名増えている。 月～金の朝9時から事務所前アーケードでラジオ体操第1を2回実施。その後手指や肩甲骨、股関節を動かす運動を実施。体操後自宅に帰る際には参加者同士で話をしながら帰り、良い交流の場となっている。 ・毎月開催4月～1月（8月お休み）延参加者数60名 ・毎月開催4月～1月（8月お休み）延参加者数122名 健康教室は毎月開催し、月ごとに体操や講話を開催。毎回参加している方や、月のイベント内容により参加される方と様々。健康測定や音楽演奏会などは参加希望が多い。今年度は7月にサマーコンサート、12月にクリスマス会を実施。圏域内のグループホームに声かけを行い4事業所のご参加があり一緒に楽しむことが出来た。 ・圏域内のシニアリーダー体操やお散歩倶楽部、認知症カフェなどの情報を掲示し、情報を発信した。	◎
(2)	交流の場づくり	・ホットスペース畑（認知症カフェ） ・にれの木手仕事サークル	・認知症カフェ時に対象者に声掛けを行い、参加を促した。開催時には毎回参加し、一緒に支援を行った。民生委員さんと一緒に、支援者の相談役になり、会の運営などについて話し合いを行った。 ・R6年6月に新規立ち上げ。手仕事好きの方にアナウンスし6月～1月の8ヶ月で延69名の参加があり、徐々に参加者が増えている。作成する内容も参加者から積極的にアイディアが出るようになって、楽しんで参加できている。	◎

《基本方針２》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・民生委員、社協地区部会との連携	・民生委員・児童委員の定例会に参加。 民生委員や児童委員と地域の情報を共有し対応した。 個別地域ケア会議を開催し、民生委員や関係事業者と安全な生活を送るための話し合いを行った。 ・2回/年 朝日ヶ丘地区部会であんしんケアセンターの役割や介護予防についての講話、健康チェックのための脳年齢や骨密度、血管年齢などの健康チェックを実施した。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	・にれの木台夏祭り ・UR とコラボイベント ・西小中台敬老会	自治会主催の夏祭りに参加。 輪投げのブースを出展し、地域住民に向け、あんしんケアセンターの周知活動を行った。 子供 210 名 大人 40 名の参加 開催準備を自治会役員とともにやり、関係を深めることが出来た。 UR と連携し UR 見守りサービスやあんしんケアセンターの役割、リハパートナーに安全な歩行について実際に指導をいただいた。歩行が不安定な方には福祉用具の活用についてなど専門職から話をしていただいた。 UR 集会所では脳年齢チェックや骨密度の測定を実施し、圏域内の薬剤師による健康相談を個別に行った。 UR 管理事務所、西小中台管理事務所に定期的に訪問し情報の共有をはかった。 西小中台地区の敬老会に参加し、あんしんケアセンターの周知や介護予防についての講話や体操を実施した。	◎

《基本方針３》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	人材育成 圏域内グループホーム、地域密着型運営推進会議	・シニアリーダー講座受講者に地域の現状を説明し必要性を伝えた。 ・にれの木台、西小中台の健康教室で、地域の方にご協力いただきヨガや体操、フラダンスや楽器の演奏などを地域の皆さんに披露して頂いた。 ・地域密着型サービス事業所の運営推進会議に参加し福祉サービスの質の向上を図るための助言を行った。圏域内 6 事業所 25 回参加	○
(6)	地域福祉情報の発信	情報発信	健康教室、ラジオ体操、圏域内シニアリーダー体操などで情報を発信した。 ・畑地区で介護保険制度や介護予防、地域の特性などについての講話を行った。 ・朝日ヶ丘公民館で認知症サポーター養成講座開催。(18 名参加) ・地域の福祉情報を所内で共有し総合相談者へ情報の提供を行った。	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	キッズ認知症サポーター養成講座	・9/13 西小中台小学校 5 年生 29 名、先生 2 名 計 31 名にキッズ認知症サポーター養成講座を開催。認知症についての正しい理解や認知症の人への接し方についての講話を行った。 ・11/20 に畑小学校 5 年生 42 名 先生 3 名計 45 名にキッズ認知症サポーター養成講座を開催認知症についての正しい理解や認知症の人への接し方についての講話を行った。	◎

≪基本方針4≫ 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺防止の啓蒙活動	・にれの木台ラジオ体操や健康教室、圏域内シニアリーダー体操などの集いの場で特殊詐欺や消費者被害の情報提供をし、注意喚起を行った。 ・高齢者世帯や独居の方へナンバーディスプレイや留守番機能の利用を推奨している。 ・民生委員との情報共有。 ・3月11日、18日に千葉西生活安全課に特殊詐欺についての講話を予定	○
(9)	身近な災害への備え	BPC 計画の作成	・BCPの策定 - 有事の際の対応について所内で勉強会を行った。 - 定期的に防災グッズの点検、確認を行った。 - 防災マップの確認を所内で定期的に行った。 - 圏域内自治会の防災状況を確認のためアンケートを実施し、現状の把握を行った。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和6年度の実績 (上記項目の総括)	・概ね予定していた活動は出来た。 ・月～金のにれの木台ラジオ体操は参加人数が増加。介護予防に関する意識付けが出来てきている。 ・毎月実施している健康教室や手仕事サークルも定着してきているため今後も継続していけるよう引き継ぎを行った。 ・民生委員や社協、UR、各自治会など良い関係性が出来ていた。 ・地域ケア会議や認知症サポーター養成講座などの開催が少なかったため地域へのアプローチが必要であった。
令和7年度の目標	令和7年3月末で終了。
今後の課題と方針	令和7年4月より社会福祉法人生活クラブに、引き継ぎを行っている。
令和6年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和6年度）
あんしんケアセンター花園

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	まちの談話室	毎月、生活支援コーディネーターが参加し、運営支援を行った。そのうちの2回三職種も参加し、防災などの情報発信を行った。また、認知症サポーター養成講座を2月に開催、受講者16名の参加があった。	○
		花園みんなのカフェ「TOMO」	毎月、生活支援コーディネーターが参加し、運営支援を行った。その中で総合相談があり、三職種と連携し対応した。 紹介のあった利用者の対応についての話し合いを行い、今後の関わりの方についてのご意見をいただいた。 3月に認知症サポーター養成講座を開催予定。	
(2)	交流の場づくり	ふれあいサロンけみがわ	企画・運営支援を行った。 通算5回 参加した中で消費者被害等の情報発信を行った。 福祉用具事業者を講師に招き、AIによる歩行測定を行い、19名の参加があった。3月も参加予定である。	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	困難ケースの個別ケア会議を7件開催し、地域の事業所、関係機関、地域の方々との連携構築を行った。 朝日ヶ丘4丁目地域ケア会議を行い、自治会と共催で、自治会館を利用し催し（音楽療法による体操、AIによる歩行測定）を10月に企画した。12名の参加があり、あんしんケアセンターの周知も行えた。 この企画の振り返りとして地域ケア会議は行えなかったが、朝日ヶ丘4丁目地区の民生委員にお会いし、活動の報告と今後について文書でお伝えした。	○
		民生委員との情報共有	民生委員と情報共有、連携、アウトリーチを行った。 民生委員からいただいた情報のもと相談につながった。また、同行訪問も多数行った。	

(4)	地域の機関・団体等との連携	地域民児協定期例会への参加	R6 年 4 月と R7 年 2 月の民児協定期例会（202 地区）、R6 年 5 月（201 地区）に参加し、あんしんケアセンターの業務内容及び、今年度、来年度の取り組み、今後の地域とのかかわり方の目標を伝えた。 また、介護予防のパンフレット、花園だよりの配布を行った。花園地区敬老会へ参加した。	○
		消防との連携	119 番通報を繰り返す方の情報提供シートを作成し、消防との連携を行った。	
		花園公民館との連携	8 月に今後の地域交流について、公民館と話し合いを行った。その後、地域のサークルと地域の高齢者施設の交流を作ることができた。	

《基本方針 3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	地域密着型サービス運営推進会議	圏域内の小規模多機能、デイサービス事業所の運営推進会議に計 4 回出席し、地域状況の共有と福祉サービスの質の向上について意見交換を行った。	○
		シニアリーダー養成講座	シニアリーダー養成講座へ講師を派遣した。 シニアリーダー養成講座の周知を「花園だより」に掲載した。今年度は、圏域内の住民の参加があり養成につながった。	
		ちばし地域づくり大学校	生活支援コーディネーターを講師派遣した。	
(6)	地域福祉情報の発信	広報誌の作成	あんしんケアセンターの周知と情報発信を目的に、春、夏、秋、冬と 4 回「花園だより」を発行した。郵便局や公民館、商店、センター前に掲示することで、情報発信を行った。また、一部自治会での回覧、シニアリーダー体操等での配布を行った。	○
		介護予防活動の情報提供	生活支援コーディネーターが地域の中で参加できる運動の場の情報を集約し、案内を作成した。それらの情報を個別相談の中で情報発信し、介護予防の取り組みにつなげることができた。また、委託先の介護支援専門員へも情報共有を行った。	

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	出張講座	地域の団体からの依頼により、介護保険に関する情報 や地域の情報などの講演を2か所で行った。 認知症サポーター養成講座を高齢者施設、まちの談話 室で行った。3月も開催予定である。	○
-----	----------------------	------	---	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成 状況
(8)	継続的な防 犯活動への 取り組み	消費者被害防 止への啓蒙活 動	「花園だより」を4回作成、詐欺に関する情報を掲載 し、郵便局や公民館、商店、センター前に掲示し情報 発信を行った。 また、地域の集まりに参加した際、「通話録音装置の設 置経費補助」を2回、防犯対策を1回の情報提供を行 った。	○
(9)	身近な災害 への備え	B C Pの作成	携帯発電機の試運転を月1回実施している。 災害時安否確認者リストを作成した。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 6 年度の実績 (上記項目の総括)	・ 予定していた事業計画はほぼ実施することができた。 - 朝日ヶ丘自治会との体操イベントが共催で開催できたことは、地域とのつながりを作る上で前進したと思われるが、その後の計画にはつながらなかった。 ・ 地域の集まりの場に参加し、その都度、介護予防や消費者被害、防犯対策の情報提供を行ってきたが、交流の場に参加しない方々への周知が課題である。 ・ 生活支援コーディネーターによる継続的な地域活動の参加はできたが、三職種による参加は限られたものになってしまった。 ・ 今年度、認知症サポーター講座を 3 か所で開催することができた。
令和 7 年度の目標	今年度、実施したことを継続するとともに、地域住民が住み慣れた地域で生活を持続することができるように、地域の関係者や生活支援コーディネーターと連携を図りながら、地域ニーズの把握やインフォーマル資源の発掘と発信を行う。
今後の課題と方針	・ 80・50 問題、ゴミ屋敷問題、生活困窮者、身寄りがいない等、多様かつ複合的な問題を抱えた相談が増加している。問題が悪化する前に相談してもらえるよう、あんしんケアセンター花園の周知を行う。 ・ 高齢化率が高い地域では、複合的な問題を抱える事例が多いため、包括三職種・関係機関や地域との連携を強化し、相談や支援を行っていく。 ・ 地域住民が住み慣れた地域で生活を持続することができるように、地域の関係者や生活支援コーディネーターと連携を図りながら、地域ニーズの把握やインフォーマル資源の発信を行っていく。 民生委員や町内自治会と連携を図り、各会の出席および活動への参加の機会を持ち、地域の問題や課題に取り組む。
令和 6 年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）